

仙台北部道路の整備効果

産業を支援する 仙台北部道路

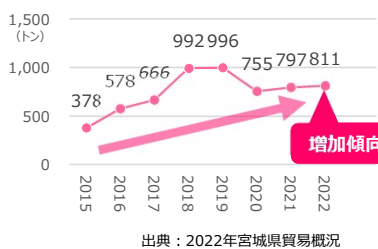
- 仙台北部道路の通る湾岸部には、東北地方で貨物量シェア1位を占める仙台北部道路・仙台空港が立地し、東北地方各地の産業の玄関口となっています。
- 仙台北部道路は、東北地方各地から湾岸部への所要時間短縮や時間信頼性の向上により、地域産業の活性化を支援しています。



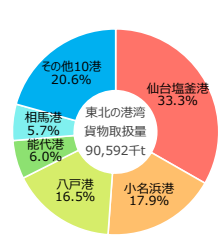
▼仙台北部道路近隣の主な港湾・空港



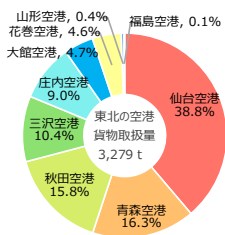
▼仙台空港の国際取扱貨物量推移



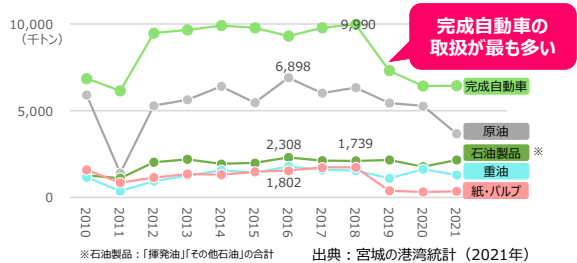
▼東北地方における仙台北部道路の貨物量シェア



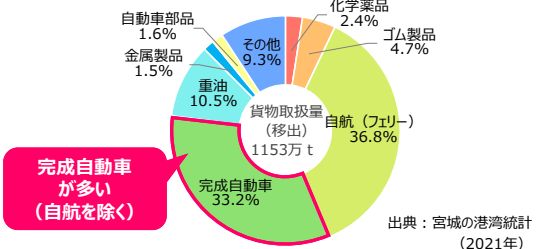
▼東北地方における仙台空港の貨物量シェア



▼仙台北部道路 (仙台区) の品別取扱貨物量の推移



▼仙台北部道路 (仙台区) における移出貨物の品別構成



地域産業の活性化を支援

完成自動車の出荷・部品供給ルート



自動車部品輸送企業の声

自動車メーカーで決められた納品時間に合わせて輸送するため、仙台北部道路を利用しています。ドライバーの労働時間の制約等も鑑みて、定時性があり、輸送時間が短縮できる選択肢として高速道路の利用が欠かせません。

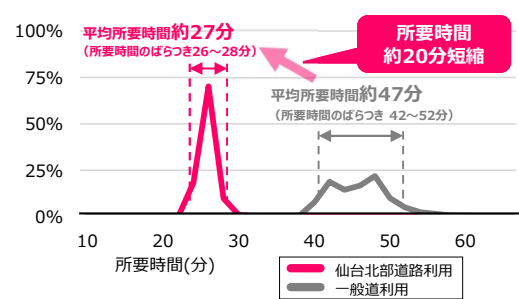
出典：2023年企業ヒアリング調査

半導体製品の出荷ルート



所要時間と時間信頼性の変化

(自動車工場 (大衡村) ~ 仙台北部道路)



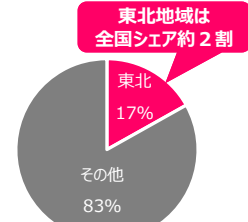
※時間信頼性 (所要時間のばらつき) は所要時間の上位10%値と下位10%値の時間差により評価。(事故等が発生し、移動に極端に時間がかかった場合などを除外する考え方)

※平均所要時間はすべてのサンプルデータにて算出。

出典：ETC2.0プローブデータ (2022年1月~10月、12月 平日昼間12時間)



▼東北地域の半導体関連産業 製造品出荷額全国シェア



▼東北自動車道沿線の主な半導体企業の立地状況



※半導体関連産業：電子部品・デバイス・電子回路製造業、半導体製造装置業

出典：2022年経済構造実態調査 製造業事業所調査 (地域別統計表データ)

国際貨物フォワード企業の声

2024年問題で、東北の製品等を成田空港まで陸送せず、仙台発の国際貨物として輸送するニーズが高まっています。仙台空港では、2023年7月下旬に仙台北部線を利用した航空貨物の定期輸出が再開しており、宮城・岩手を中心に半導体製造装置関連の部品工場からの利用を見込んでいます。

出典：2023年企業ヒアリング調査